

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 来場者事前申請されている者で1週間前(5月6日~8日)から体調管理チェックを行い、受付時に体調管理チェックシートを提示し、ADカードを付与された者のみが入場できる。
- (2) 来場時には「とくしまコロナお知らせシステム」に登録して頂きます。
- (3) 来場にあたっては、マスク・タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (4) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を行うこと。
- (5) 待機・ウォーミングアップ・招集等では競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (6) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- (7) 飛沫拡散を防ぐ為、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
長距離種目において、連盟が定めた強化委員がインフィールドでタイムの読み上げを行うことがある。
- (8) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に報告すること。

3. 練習について

- (1) 練習は危険防止に十分注意し、競技役員、大会運営役員の指示に従うこと。詳細は下記の表を参照すること。

■練習会場の使用時間・日程

会場名	競技種目	5月13日(金)	5月14日(土)	5月15日(日)
ポカリスエット スタジアム 【メイン】	トラック	16:00~17:30 ※1	9:30~11:00 ☆ ※1	7:45~9:15 ※1 ※2
	バックスタンド下 室内練習場	雨天時に開放	雨天時に開放	雨天時に開放
第二 陸上競技場	トラック	16:00~20:00 ※3	9:30~19:00 ※4 ☆	7:45~17:30 ※5 ☆

※1 ポカリスエットスタジアム・正面玄関から入場すること。

※2 男子100m予備予選出場者のみ使用可とする。

※3 5/14、15に行われる種目の出場者が練習で使用する場合は、競技役員の指示に従うこと。

※4 400mHは第1曲走路~バックストレートで女子6レーン、男子7,8レーンを使用すること。

※5 110mHはホームストレート8,9レーン、100mHは7レーンを使用すること。

《雨天時の対応について》

雨天時は、実業団選手用としてバックスタンド下の雨天走路を開放する。

☆招待種目(小中高校生)の練習について

【ADカードを所持した選手及び付添者(エントリー時に確認済み)が、練習会場に入場可能。】

◎5月14日(土)

- ・9:30~11:00まで、ポカリスエットスタジアムにて練習可とする。
- ・11:00以降は第二陸上競技場のホームストレート8,9レーンのみでスパイクを着用した流し、ダッシュ等のみ認める。
- ・中学生1500m、3000mの練習では、第二陸上競技場の1,2レーンの周回利用を認める。
- ・更衣については、11:00まではメインスタンド1階の更衣室を利用する事が出来る。

◎5月15日(日)

- ・高校生4×100mRについては、第二陸上競技場において男子110mH決勝の招集完了時間である12:25以降、男子100m決勝競技開始の1時間前となる13:20まで、第3コーナー~フィニッシュの区間において、3~6レーン(ホームストレートは8レーンまで)を利用する事ができる。1,2レーンは周回種目の練習を行っているので注意すること。
- ・更衣については、第二陸上競技場で練習可能な時間帯のみ更衣室を利用する事が出来る。

《雨天時の対応について》

雨天時は、小中高生用として、南側サイドスタンド下の雨天走路を開放する。

ただし、利用に際しては、競技役員の指示に従うこと。

- (2) 跳躍種目、投てき種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示に従って行うこと。

4. 競技場の開閉門について

	5月13日(金)	5月14日(土)	5月15日(日)
開 門	16時00分	9時30分	7時45分
閉 門	20時00分	19時00分	17時30分

※ポカリスエットスタジアム正面入口付近にあるチケット販売ブースにて、
チーム受付（アスリートビブス、プログラム配布）および事前申請をした選手・スタッフの
体調管理チェックシートの提出を行う。
受付開始時刻は上記開門時間とし、終了時刻は各日最終トラック種目スタートの30分前とする。

5. 招集について

- (1) 招集所は、ポカリスエットスタジアム北側サイドスタンド（第3～第4コーナー）下の雨天走路に設ける。競技場内を通過してではなく、競技場の外から招集所に移動すること。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

【トラック】	【フィールド】	※棒高跳
開始時刻 25分前	開始時刻 50分前	女：11:50～12:00 男：13:50～14:00
完了時刻 15分前	完了時刻 40分前	

※決勝ラウンドに進出した選手で欠場する者は、招集所に競技開始1時間前までに欠場届を必ず提出すること。
- (3) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者系の点呼を受ける。
 - ② その際、アスリートビブス、スパイクおよび競技場内で着用するウェアやバッグ類の商標点検を受ける。同時にトラック種目出場者は「腰ナンバー（シール式）」を受け取り、右腰に付けること。5000m、10000m、5000mWは「選手・チーム受付」で配布された別アスリートビブスを付けること。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が競技者係に申し出ること。
 - ④ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものと扱う。
- (4) リレー種目について
 - ① リレーオーダー用紙は各組の招集完了時刻1時間前までに、招集所にて提出すること。（リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること）
 - ② 招集完了時刻には4人全員招集完了をしていること。（女子4×400mRは代理人1名のみでの点呼を可とする）
 - ③ リレーの出場者は同一デザインのユニフォームを着用すること。（TR5.1（国内）の規定を適用する）ただし、形状は問わない（ランニングシャツ・ランニングパンツ・タイツ等）。
 - ④ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用後各チームの前走者が必ず取り除くこと。
- (5) 欠場する場合は、欠場届を招集開始前に競技者係に提出すること。
なお、欠場届は、関西連盟HPからダウンロードもしくはプログラム巻末ならびに招集所にて用紙を受け取り使用すること。
- (6) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は競技役員（マーシャル）の指示に従い移動すること。
ただし、ホームストレートのダッグアウトは通行しないこと。

6. 競技進行について

- (1) 競技について
 - ① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
 - ② 関西実業団以外の登録選手について、トラック種目ではラウンドアップ、フィールド種目（走高跳、棒高跳除く）では6回までの試技を認める。ただし、3位までを対象とした順位表彰の対象にはならない。
 - ③ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
 - ④ 準決勝、決勝の組合せ及びレーンは主催者が抽選し、速報サイトにて発表する。
 - ⑤ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位において100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
 - ⑥ 5000mWの競技者は、32分を過ぎて新たな周回に入ることはいできない。
 - ⑦ スパイクのピンは、9mm以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm以下とする。本数は11本以内とする。
シューズの靴底の厚さはWA規則第143条TR5：シューズに関するルール再改定部分を適用する。
 - ⑧ アスリートビブスは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
（招待小学生リレーは、主催者が1枚配布するナンバーカードを胸部につけること）
 - ⑨ 投てき種目、棒高跳の滑り止めについては各自、用意すること。

(2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

跳躍競技

走高跳	男	決	練習 1m80	1m85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m55	1m60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 4m00	4m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 3m00	3m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

7. 競技用具について

- ① やりは、個人所有の使用を認める。
- ② やりは、競技開始 60 分前までに大会本部にてチェックを受ける。
大会本部…ポカリスエットスタジアム 1 階、第 2 会議室（徳島陸協役員控室内）に設ける。

8. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、大会本部へ申し出るものとする。

9. 表彰について

- ① 各種目の優勝者を表彰する。
- ② 1 位から 3 位までの入賞者は成績発表後直ちに、表彰場所（ポカリスエットスタジアム、エントランスホール下）に集合する。1 位の選手のみ大会役員からの表彰を受け、2 位と 3 位の選手については賞状と副賞を競技役員（表彰係）より受け取ること。
- ③ 関西連盟以外の登録者については表彰の対象外とする。
- ④ 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ⑤ 最優秀選手には毎日新聞社杯を授与する。

10. その他

- (1) ポカリスエットスタジアム 2 階コンコースを選手、チームスタッフ、付添者の待機場所とする。
また、バックスタンド側コンコースについては、実業団選手専用の待機エリアを設定する。待機エリアについては会場案内図を確認すること。
大会 2 日目の競技終了後、コンコースにおけるシート等の残置を認めるが、紛失、盗難に関して主催者は一切責任を負わない。
- (2) 部旗、横断幕、幟などはサイドスタンド・バックスタンド中段通路より上部に掲出すること。中段通路の手すりへの横断幕掲出は認める。メインスタンドについては、最上段通路の手すりへの掲出のみ認める。
ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合があるので従うこと。
部旗、横断幕等については大会期間中残置を認めるが、悪天候が予想される場合は撤去すること。
- (3) 記録は、掲示しない。ホームページ、関西連盟 SNS にて随時公開する。
- (4) 更衣について
 - ・更衣室は更衣の為のみ利用可能とする。待機場所としての利用は出来ない。
 - ・貴重品は各自で責任を持って管理すること。
 - ・入室時に「更衣室入退管理表」に名前、所属、入室時刻を記入し、退出時には退出時間を記入すること。
 - ・更衣室の利用時間は入室してから 15 分以内とする。
 - ・更衣室はポカリスエットスタジアムに男女各 1 室、第二陸上競技場に男女各 1 室を設ける。
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) スタンドではソーシャルディスタンスを考慮して利用すること。
- (7) 第 1 曲走路内側（フィニッシュ地点）と第 2 曲走路内側（200m スタート地点）に通過記録等を選手に伝える大会役員（関西連盟強化委員からの選出者 2 名）を下記の種目に限り設ける。
 - ・大会 1 日目（金）：男女 10000m
 - ・大会 2 日目（土）：男子 5000m（1 組～4 組） 大会 3 日目（日）：女子 5000m（1 組、2 組）
- (8) 携帯電話等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。
- (9) 一眼レフカメラ、ビデオカメラを競技場内で利用する場合には、申請が必要となる。
申請については正面スタンド 1 階入口にて受け付け、許可証を着用した者のみ撮影を認める。
実業団登録チーム以外の一般観客についても同様とする。
- (10) スタンドには、撮影禁止エリアを設けるので遵守する事。エリアについてはロープ等で示す。
撮影禁止エリア以外でも、不適切な撮影行為（盗撮等）が疑われる場合については、場内巡回スタッフが声がけし撮影内容を確認するので、応じる事。盗撮を発見した場合には、直ちに警察に通報する。